



BENIIMO CUP

YOMITAN SOCCER FESTIVAL

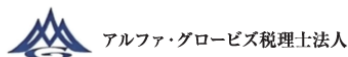
2025 EVENT REPORT

2025.8.04 mon ▶ 08fri @読谷村陸上競技場／金武フットボールセンター

- ▶ 交流試合
- ▶ 沖縄フィールドラニング／国際交流・文化交流・マリンスポーツ体験
- ▶ 夏場のコンディショニング講習会
- ▶ SDGs アクション／小学生サッカー教室・サッカーボール寄贈・植樹活動

沖縄県内の U-18 世代のサッカーコミュニティを促進し、地元の若い才能の力を育むためのサッカー大会
県外からの参加チームに対しては、サッカーを中心としながらも、試合だけではなく
沖縄の文化・自然・地域との交流を通じて選手たちに“学び”と“感動”を提供する新しいツーリズムコンテンツ

PARTNERS パートナーご紹介



(一社)沖縄県障がい者サッカー連盟



主催：U-18 YOMITAN SOCCER FESTIVAL 実行委員会

共催：読谷村・読谷村教育委員会・読谷村サッカー協会

後援：読谷村観光協会・読谷村商工会・FM よみたん

▶ 交流試合

参加チーム：国学院久我山高校 A・那覇高校・名護高校・南風原高校

国学院久我山高校 B・那覇西高校・宜野湾高校・沖縄県 U-16 選抜 計 8 チーム

予選ラウンド

8月5日(火) 9:00開始 金武フットボールセンター

試合	時間	グループA(天然芝グラウンド)	試合	時間	グループB(人工芝グラウンド)
①	9:00	国学院久我山A 4-1 那覇高校	①	9:00	国学院久我山B 2-0 沖縄県U-16
②	10:20	名護高校 7-0 南風原高校	②	10:20	那覇西高校 4-3 宜野湾高校
	11:40	インターバル 80分		11:40	インターバル 80分
③	13:00	名護高校 1-3 国学院久我山A	③	13:00	那覇西高校 1-3 国学院久我山B
④	14:20	南風原高校 2-3 那覇高校	④	14:20	宜野湾高校 0-2 沖縄県U-16

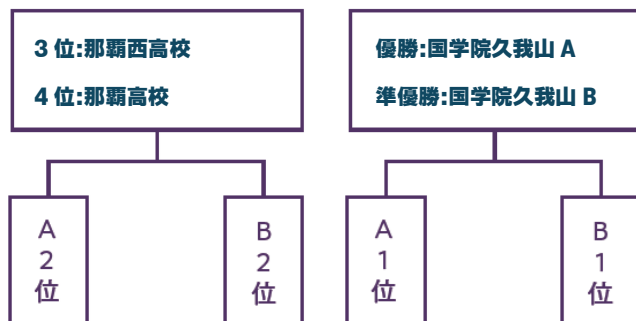
8月6日(水) 9:00開始 金武フットボールセンター

試合	時間	グループA(天然芝グラウンド)	試合	時間	グループB(人工芝グラウンド)
①	9:00	那覇高校 2-0 名護高校	①	9:00	沖縄県U-16 0-2 那覇西高校
②	10:20	国学院久我山A 11-0 南風原高校	②	10:20	国学院久我山B 4-2 宜野湾高校

順位トーナメント 8月6日(水) 13:00開始 金武フットボールセンター

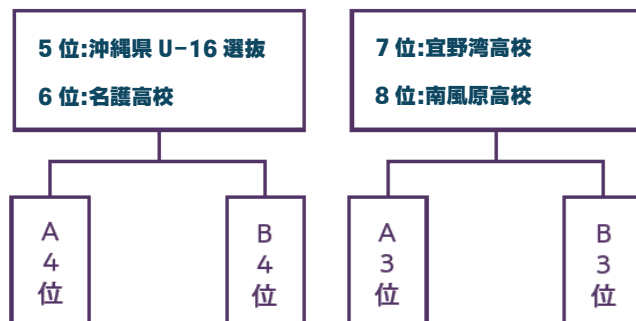
BENIIMO CUP

会場：天然芝グラウンド



MANTA CUP

会場：人工芝グラウンド



試合	時間	会場：天然芝グラウンド
①	13:00	【A2位】 那覇高校 3-8 【B2位】 那覇西高校
②	14:20	【A1位】 国学院久我山 A 3-3 【B1位】 国学院久我山 B PK4-2

試合	時間	会場：人工芝グラウンド
①	13:00	【A4位】 南風原高校 0-4 【B4位】 宜野湾高校
②	14:20	【A3位】 名護高校 0-2 【B3位】 沖縄県 U-16



▶ 沖縄フィールドラーニング

これまでにない「新たな形のスポーツ合宿」を提供。競技力にとどまらず異文化・多様性に触れる成長機会に！
新たな教育の形である、意欲・自信・忍耐・協調・共感・好奇心などを含む「非認知能力」の向上にも効果を発揮することができます。

国際交流

Supported by



沖縄に住む外国人のホストファミリー宅にホームステイ。参加した生徒からは、「普段食べない物や、できない経験ができたし、英語を話す能力が伸ばせた」「自分と違う文化の人と触れ合うことができた」「様々な文化を肌で体験できた。インドは前から興味があったのでとても良い経験ができた。」などの感想をいただき、英語だけではなく外国の文化を学ぶ貴重な機会となりました。

文化交流

Supported by



異なる地域の高校生同士が、「芸能」という共通の言語を通して交流することで、相互理解を深めることができました。

県外の生徒にとっては、沖縄の文化や歴史、人々の心を肌で感じる貴重な機会となりました。また、サッカーというスポーツとは異なる身体表現やリズム、歴史観に触れることで、生徒たちの感性が刺激され、多角的な視点を養うことができました。

南風原高校の生徒にとっても、自分たちの文化を伝えることで、改めてその価値を認識し、誇りを持つきっかけとなったのではないのでしょうか。

※南風原高校郷土芸能部は、今年度の第49回全国高校総合文化祭郷土芸能部門にて最優秀賞を受賞。

マリンスポーツ体験

Supported by



海の大自然にふれることで、普段の競技とはひと味ちがう気づきが生まれ、まさに沖縄ならではの体験を通して広がる学びを実感していただきました。仲間と支え合いながら取り組むことで、協調性や忍耐力が自然と育まれ、挑戦を楽しむ姿勢や新しいことへの好奇心も大きく広がります。こうした経験は、サッカーの技術だけでなく、意欲・自信・共感といった“これからの時代に大切な力”を磨ききっかけになります。

▶ 夏場のコンディショニング講習会

Supported by



大塚製薬株式会社 九州第二支店 那覇出張所 営業課

夏場のコンディション管理(リカバリー、ケガ予防、栄養管理、睡眠など)の重要性を理解し実践することで、自己管理能力を高め、怪我のリスクを軽減し、秋以降の試合でパフォーマンスを向上させることを目的に沖縄県内の参加チームを対象に実施(希望校のみ)しました。

実施校

受講者感想(アンケートから一部抜粋)

南風原高校 28名 「交代浴を実践したい」「高校に入って体重が少し減っていた。しっかり食事を摂るようにしたい」「練習後はケアをしっかりしたい」「こういった職業に興味があったので、新しく知ることが出来て良かった」など
那覇高校 61名
宜野湾高校 67名
講習会で具体的な気づきを得たものと考えます。



▶ SDGs アクション

開催地域と連携した SDGs プログラム(地域課題解決)を実施。参加選手の”持続可能な未来のための意識向上”を図り、人間形成の機会の場も提供しながら新しいスポーツ観光資源としての大会開催定着を目指しています。

小学生サッカー教室



国学院久我山高校サッカー部の生徒たちによる、読谷村内の小学生を対象にサッカー教室を開催。当日は、100 名もの参加がありました。

高校生は教えることで成長し、小学生は身近な目標を得て成長し、地域社会は活性化するという、三者にとって有益な取り組みだと考えています。

高校生にとって：指導力、コミュニケーション能力、責任感、リーダーシップを育成。教えることで自身の理解を深め、自己肯定感を向上。

小学生にとって：身近なロールモデルから技術や姿勢を学ぶ。リラックスした環境で親しみやすい指導を受ける。

地域社会にとって：世代間交流を促進し、地域スポーツを振興。

サッカーボール寄贈



大会で使用したサッカーボールを開催地である読谷村内の中学校 2 校と高校 1 校に寄贈しました。

学校や地域のスポーツクラブなどでは、ボールの数が限られている場合があります。寄贈によってボール不足が解消され、より多くの子供たちが同時にサッカーを楽しむことができるようになります。また、公式球を使用することで、公式戦に近い環境で練習することができ、試合へのモチベーション向上や実力発揮に繋がればと考えています。

植樹活動



舞台演出家の平田大一さんとアーティストの宮沢和史さんが手を携え、2012 年にスタートした「くるちの杜 100 年プロジェクト」は、沖縄の伝統楽器である三線(さんしん)の材料となる黒木(くるち、リュウキュウコクタン)を植樹し、100 年後の未来に三線文化を繋いでいくことを目的としたプロジェクトです。平田大一さんにくるちの杜をご案内いただき「草刈りなどの維持管理活動」「黒木の植樹」を体験させていただきました。

本年度の「ZANPA presents BENIIMO CUP」開催に際し、多大なるご支援を賜り誠にありがとうございました。

おかげさまで、選手たちはピッチ内外で多くの学びと交流を経験し、無事に大会を終えることができました。

地域の特色を活かした沖縄ならではの体験は、スポーツを超えた学びの場となり、「新たなスポーツツーリズム コンテンツの創出」の一歩となりました。

次年度に向けては、「沖縄の高校サッカーを強くする」「読谷村のサッカーを盛り上げる」取り組みをさらに推進し、より充実した大会を目指してまいります。今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

U-18 YOMITAN SOCCER FESTIVAL 実行委員会 一同